

# 議会報告

日本共産党交野市議員団

## かたの民報

No. 1733

2020年12月発行

交野市役所 日本共産党控室  
私部 1-1-1  
☎ 892-0121(内線 301)



さわが い す み

星田 7-44-21  
☎ 894-2835



藤田 まり

私部西 2-16-13-310  
☎ 397-3027



北尾 まなぶ

倉治 7-8-7  
☎ 893-3163

### 教育環境の悪化は明白です！ 一中校区の小中一貫校計画は見直しを！

市は、交野小・長宝寺小・一中を統廃合し、交野小の敷地に小学生と中学生1100名以上を詰め込む、施設一体型小中一貫校計画をゴリ押ししています。日本共産党は、9月議会で教育環境の悪化につながる計画の見直しを求めました。

**グラウンドは安全確保のために、活動制限!?**

小中一貫校の現計画は、メイングラウンドとサブグラウンドを合わせて12100㎡です。(これは国が定める最低基準の広さ)。この狭いグラウンドで、1100名以上の小中学生が休み時間や放課後に活動することは非常に危険で無理があります。

**いきいきランドのプール使用でホンマに大丈夫!?**

教育委員会は、プールをつくらず、いきいきランドのプールを使用しても、「移動に片道10〜20分と想定して、入水時間は50分確保できる」と答弁しました。しかし、この想定は、「高学年の児童を対象に他市への聞き取りを行った」との説明です。低学年や、支援の必要な児童を想定せず、『授業時間は十分確保できる』と答えるのは無責任です。

また、交野小と長宝寺小の放課後児童会数は約180名、フリースペース利用の児童は約50名で、サブグラウンドだけでは狭すぎます。



#### いきいきランドでプール授業をしたら… (低学年を想定)

20分	学校→いきいきランドまで移動
10分	水着へ着替え
5分	体操
5分	シャワー
<b>入水時間 (15分)</b>	
5分	シャワー
10分	着替え
20分	いきいきランド→学校まで移動

プール授業は2時限通して行われています。

※小学校教員の経験を参考に、日本共産党議員団が想定。

**日本共産党は、こっぴど考えます！**

現計画ではグラウンドやプールだけでなく、小中で施設を共用することで、活動場所や発達面で、子ども達に日常的に多くの制限を強いなければならず、今よりも教育環境は悪化します。

日本共産党は、施設一体型小中一貫校の計画は見直し、『中学校は中学校で、小学校は小学校で、それぞれ活動場所が保障されている現状の場所で再整備していく』ことを求めました。

#### 3中・4中校区も学校統廃合の検討が！

星田北地域の開発で、人口が約2千人増える見込みです。教育委員会は星田北全域を藤が尾小学校区とする(星田北7丁目の既存街区は別途検討中)案とあわせて、将来的に3中校区では『3中と星田小・旭小・妙見坂小を統合し、3中敷地に小中一貫校』の案や、4中校区では『岩船小と私市小を統合(岩船小敷地に)』案などを検討しています。

#### 学校給食センター

#### 調理まで民間委託に!?

市は、2022年度から、学校給食センターの調理と給食補助業務(学校の配膳室で給食を仕分けるなど、アレルギー食の誤食を防ぐためにも重要な業務)を民間委託する方針を示しました。

一方、給食センター職員は大規模災害時の大量の炊き出しを担当しており、民間委託でノウハウある職員を失うことになり、事業者との契約に災害対応も含めると、経費はさらに増えます。安心安全な給食を提供する市の責任を放棄し、経費は増える本末転倒の民間委託は撤回すべきです。

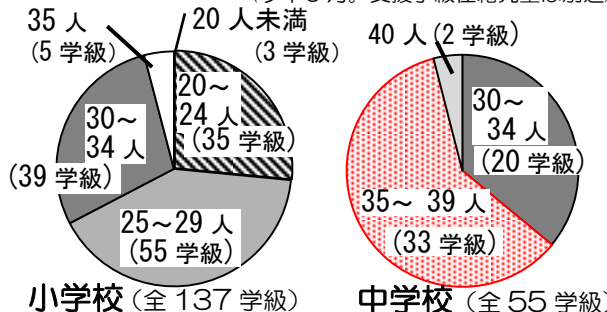


#### いまこそ少人数学級の推進を

コロナ禍で、学校での感染防止のためにも、全国市長会、連合校長会など多くの関係者が少人数学級を要望しています。交野市は、独自で小学6年生まで35人以下学級を実施していますが、中学校は国基準(40人以下)通りで、35人以上の学級が6割超あります(下表)。

#### 交野市内小中学校の1クラスの人数

(今年9月。支援学級在籍児童は別途)



導面でも少人数学級のメリットは大きい。国や府に要望していく」と述べた。